

海外事務所
だより

濟州特別自治道

〜二年経過後の現状について〜

ソウル事務所 所長補佐 青野 寛子 (松山市派遣)

ソウル事務所

はじめに

韓国政府は二〇〇二年、香港やシンガポールを凌ぐ北東アジアの観光ハブに育成発展させるため、濟州島を国際自由都市に指定したものの、法律や制度の不備などのため、成果を出すことができませんでした。

この背景を踏まえ、二〇〇六年に地方分権・地域振興を目的として、軍事・外交・司法など国家中枢にかかる権限を除いた高度な自治権を付与する「特別自治道」制度を発足、モデル地区として濟州島を指定しました。

これを機に濟州特別自治道は、二〇一一年を目標に種々の施策を進めており、注目を集めています。その成果について論じるには時期尚早ではありますが、ここでは主として濟州特別自治道の制度の概要と指定後二

年を経過した経済・産業面に関する現状を紹介したいと思います。

濟州島の概要

濟州島は朝鮮半島南西の海上に浮かぶ島で、釜山から三〇四km離れています。九州北部と同緯度に位置し、面積は一八四八km²(香川県と同程度)、人口は約五六万人です。年平均気温は平地の濟州市で一五・二度、冬でも零下になる日は少なく、一年を通じて温暖です。

濟州島には国内はもとより、中国や日本の主要都市、台湾からも直行便が就航しており、年中多くの観光客でにぎわっています。

特別自治道の概要

(1) 行政・制度面

1 自治立法権の強化

「自律と責任、創造性と多様性を基本に高度な自治権が保障される濟州特別自治道を設置して、実質的な地方分権を保障し、行政規制の幅広い緩和および国際的基準の適用等を通し、国際自由都市を作ることによって国家発展に尽くすこと」(濟州特別自治道設置および国際自由都市造成特別法第一条)とされ、軍事・外交・司法といった国家中枢にかかる権限を除き、多くの事務が濟州特別自治道に権限委譲されました。

また、立法機能の面でも、これまで政令で定めていた事項について条例での制定が可能になったことに加え、特別道知事に対し法律案提出要請権も与えられました。地域に反映させたい事項がある場合、濟州特別自治道支援委員会に対して法律案の提出を要請できる権限が付与されたものです。

財政面でも地方交付税の三％配分が保証

され、権限委譲された財源についても支援されず。また、従来の行政組織を改変（二道四市→一道二市）することで行政効率性を高め、各組織が管理していた税金の一元化、税率調整や地方債発行にかかる国の制限を廃止するなど、財政運営に関する自立性も拡大されました。

― 2 自治力の強化

特別自治道は、その権限を最大限、効果的に生かせるよう、国の管理下に置かれていた組織や人事に関する事項を道自らが決定できるようにしました。

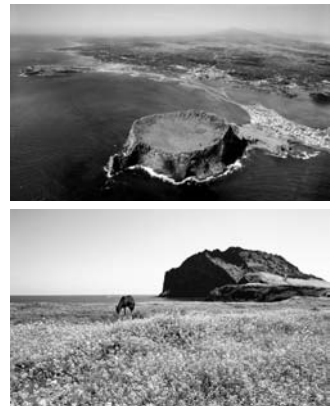
住民直接選挙によって教育委員長や教育議員を選出することにより、住民意思を教育分野へ反映させます。濟州道特別自治道で導入されたこの制度は、全国拡大適用のきっかけとなっています。

(2) 経済・産業面

濟州特別自治道が国際自由都市として発展するため、自治権強化とともに力を入れたのが規制緩和と核心産業の育成です。国が最大限に規制緩和を行うことで他地域との差別化を図り、人・商品・資本が国家間で自由に移動できる自由市場を整備することにより企業誘致を図り、観光・教育・医療・一次・先端（IT）といった核心産業を育成しています。

― 1 観光産業

外国人観光客に対しては、無ビザ入国許可国を拡大（二六九カ国→一八〇カ国）し、



↑海底噴火によってできた、海拔182mの火山島です。城山日出峰頂上には巨大な噴火口があり、火山学研究所の貴重な資料にもなっています

国内観光客に対しては、免税に関する制限を緩和することで観光客増加を目指しています。

― 2 教育産業

濟州特別自治道を英語教育の中心地として育成するため、国策事業として英語教育都市を造成予定で、外国教育機関の設立を規制緩和するとともに、国際的な教育機関を誘致し、多様な教育サービスを提供します。国内の海外留学の需要を濟州で吸収することも目的の一つです。

― 3 医療産業

外国医療営利法人開設許可や医療ビザ制度（患者の家族も四年滞在可能）など、医療観光基盤活性化戦略で外国系病院の関心を集めています。外国医療法人の付帯事業範囲を拡大し、観光事業と組み合わせさせた事業などを行うことが可能です。

― 4 企業誘致

国内外からの投資を拡大させるため、さまざまな規制緩和および制度の改善が行われています。中央政府から濟州特別自治道

に権限委譲されたことにより、大型開発事業の場合、開発事業許可をワンストップサービスで提供できるようになり、事業承認期間も短縮されました（二二カ月→約一〇カ月）。また、投資時の出資総額制限の緩和や投資振興地区指定業種の拡大（二四業種→二二業種）、投資企業に対する租税減免期間の延長（五年→七年）、外国人投資家に対する永住権取得基準の緩和（二年居住→投資後直ちに）など投資環境の改善を行いました。

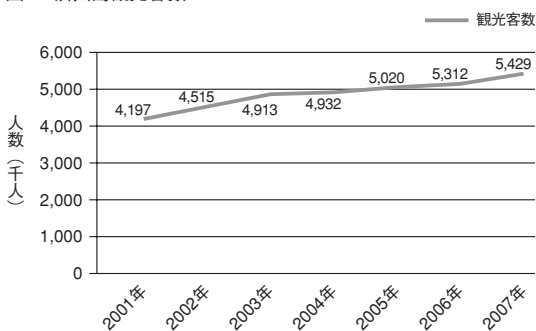
○現状

濟州特別自治道から発表された、特別自治道指定二年経過後の現状を、以下に紹介します。

― 1 観光客数

無ビザ入国許可国を拡大したことと、「濟州火山島と溶岩洞窟」がユネスコ世界遺産に登録（二〇〇七年六月）されたこととの相乗効果により、観光客は増加傾向にあるようです。

図1：濟州島観光客数



無ビザ入国許可拡大前に比べ拡大後は約二倍に増加していますが、このうち無ビザ対象国からの入国者は五倍近くに増加しています。

表1：無ビザ国許可拡大前後の外国人入国者数

	入国者全体数	
	無ビザ対象国	
拡大前 2005.7.1～ 2006.3.31	16,778 人	4,649 人
拡大後 2006.7.1～ 2007.3.31	34,726 人	22,537 人

2 観光地区への国内投資

濟州特別自治道がスタートしてから二年間の観光地区への国内投資は、計二一事業二兆六七億ウォンに上るとのことです。特別自治道指定前の二年間着工の五事業七八四億ウォンと比較すると、投資規模は三・五倍となっています。

3 海外からの投資

特別自治道指定前には一件もありませんでしたが、アメリカや香港、シンガポール、マレーシア、台湾の五つの国と地域からテーパークやハイテク産業など八事業に三兆四六九億ウォンの投資が確定し、現在行政手続きを進めています。

4 国内首都圏企業

三企業が本社や工場を濟州特別自治道に移転しており、二企業が研修所の建設を予定しています。

5 教育・医療産業への国外投資

教育・医療分野においては進展が遅れていましたが、先般投資が確定しています。

フィンランドのヘルシンキ経済大学が外国教育機関として初めて濟州島分校を開校します。国際経営、デザイン経営、バイオ経営など四学科を二〇〇九年に開設する予定です。医療産業面では、アメリカ・フィラデルフィア州のPIMM D（九病院の連合体）が医療法人および休養型複合施設の設定に向けて準備中です。

さらに、教育インフラとして、英語を使う小・中・高校や英語教育センターを設立、住居・商業施設などを併せ持つ英語教育都市の建設も進められているのは前述のとおりです。

このような濟州特別自治道への国内外投資のため、これまで一六三〇人の雇用効果に続き、二〇一一年までに計四一〇〇人の雇用創出効果も期待されています。

今後の課題

目標とする国際自由都市に発展させるためには、アクセス利便性の確保や教育・医療・ハイテク分野の投資誘致強化、また、地域経済の活性化を通して濟州特別自治道民の生活の質と所得を増大させることなどが課題とされており、制度的・運営的な面で未だ不十分な要素も多く、進捗状況を不安視する意見もあります。

また、今年二月に新政府が発足し、盧武鉉前政権が地方分権のモデルケースとして

試行を始めた濟州特別自治道に対して、現李明博大統領は力強い支援意思は表明したものの、「経済再興」を掲げて当選した大統領だけに、今後、いかに地方発展という課題に取り組むかが注目されています。

濟州特別自治道が実際の自治権を行使して、国際自由都市としてのポジションが高まれば、今後香港やシンガポールなどの地域とも十分な競争力を持つだろうと濟州特別自治道の関係者は判断しています。このような期待が実現化するためには、さらなる広範囲な自治権拡大が必要とされ、乗り越えるべき課題も山ほどありますが、大規模プロジェクトが進行している現状を見ると、濟州特別自治道は今後も注目すべき都市であると言えます。

出拠：濟州特別自治道



海外生活 だより

ソウル事務所

韓国のタバコ事情

ソウル事務所次長

富田

秀則（札幌市派遣）

韓国に赴任して早いものでもう一年半ほどになります。

こちらに赴任する際に一番気になったのが、不謹慎ですが仕事のことではなく、韓国の酒やタバコが口に合うかな、ということでした。

韓国の昔話は「虎がタバコを吸っていたころ」という常套句（日本では、昔々あるところに……）から始まるようですが、そんな虎がタバコを吸った時代もあった韓国のタバコ事情について紹介します。

韓国タバコ市場

韓国タバコの価格を見ると、一九〇〇～五〇〇〇ウォンまであり、イギリス、フランス、ドイツの価格の半分以下、イタリアの約三

分の二で、日本よりも高くなっています（日本二・五八ドル、韓国二・六二ドル）。

現在の韓国タバコ市場は、韓国タバコ人参加社が民営化された「KT&G」、イギリス系の「BATコリア」、アメリカ系の「PMコリア」、日本系の「JTIコリア」がタバコ市場を四分してきましたが、韓国企業としては民営化以降初の製造許可を得た「ウリタバコ」が二〇〇七年末に参入したことにより、今後、五社が市場規模一兆ウォン（約一兆二五〇〇億円）の中でシェアの争奪戦を行うこととなります。

しかしながら、タバコ市場は構造的に縮小しつつあり、二〇〇四年は一〇六五億一〇〇〇万本、二〇〇七年は九一六億六九〇〇万本へと減少しており、業界では「最近三年間は多少増えているものの、市場規模はま

すます減っていくだろう」と見ており、禁煙傾向が広がる様相を呈しています。

禁煙への取組み

日本の喫煙率は、男四三・三%、女二一・〇%（厚生労働省国民栄養調査 H16）となっており、男性の喫煙率は年々減少しているのに対して女性の喫煙率は逆に増加傾向にあります。一方、韓国の喫煙率は、男五二・八%、女五・八%となっており、男性の喫煙率は一九八〇年の七九・三%をピークにその後は低下してきています。

喫煙率を日本と韓国で比べると、男性は韓国の方が約一〇%高くなっていますが、これは、一説には徴兵制にあるとも言われており、入隊後に喫煙を覚える人が非常に多いようです。

また、韓国女性の喫煙率も日本より低いとはいえ若年層を中心に増加傾向にあります。

日本においては、昨今の「タバコ二箱一〇〇円」報道や、「たばこと健康を考える議員連盟」の発足、また、ポイ捨て禁止条例を設ける自治体の増加や禁煙タクシーの広がりなど、私のような愛煙家にはとても厳しい喫煙環境になってきています。

一方、韓国においても、建物内での禁煙化が進み、屋外で喫煙するサラリーマンの姿が多く見られます。

また、二〇〇七年九月から、ソウル市内

のすべてのバス停留所約八六〇〇カ所や主要公園を禁煙区域として指定するなど、公共の場所での禁煙運動が広がりを見せています。

さらに、日本の公共施設はいずれも禁煙が国の法令としては定められていませんが、韓国では、医療施設や教育関連施設では禁煙化が義務付けられています。また、タバコの広告、プロモーション活動についても、日本より厳しく、テレビ、ラジオ、掲示板、屋外広告、インターネット、無料配布が禁止されており、新聞・雑誌による広告のみが認められています。

タバコの警告文も日本よりも厳しく、今後は、タバコの煙にヒ素・ベンゼン・カドミウム・ニッケル・ナフタリン・塩化ビニルなど六種類の発がん性物質が含まれているという事実を、目に付きやすい黄色い文字で表示させる計画もあるようです。

こうした取組みが韓国の喫煙率の減少につながってきているのではないかと考えられます。

韓国の喫煙マナー

韓国では、年上、特に両親の前ではタバコを絶対に吸いません。また、上司や先輩の前でも、吸う場合には断わってから吸うのが正式なマナーです。

これは、昔、ヤンバン（両班）という貴族階級が権威の象徴として煙管（キセル）で

たばこを吸っていた歴史からきているとか、儒教の教えが色濃く残っているためだとも言われていますが、目上の人の前でタバコを吸うと礼儀を欠いた行為であると見られます。

また、女性が公の場で堂々と吸うこともありませんが（個人的には最近ではチョット違うような気もしますが）。

そしてタバコを吸う時には、まず相手にタバコを勧め、全員で吸います。

自分の前に置いてあるタバコは全員のものとなり、「タバコ一本ください」などとは言わずに勝手に吸い始めます。

ここで、韓国男性の面白いタバコの火の消し方を紹介します。親指と中指でタバコを挟み、人差し指でパーンと火種だけを弾き飛ばす方法です。

これは、重装備をつけている軍人がタバコの火を消すのに、いちいち地面に擦り付けていられないということから、考え出された方法であると言われています。

なるほど、火種が飛んだ吸殻をタバコの箱に入れることもでき、これなら灰皿も必要ない。

それで携帯用灰皿が韓国にはないのだと勝手に納得していたら、何のことはない、吸殻は直接、ゴミ箱や道端に捨てるのだそうです。

また、焼肉店などには、灰皿ではなく、直接タバコを床に捨てて足で消す所もあり、こうしたことを見ても、喫煙マナーに関する

意識は、まだまだ日本よりも高くはないようです。

ところで、タバコと言えば灰皿ですが、韓国ではどの店に行っても濡れた紙を乗せた灰皿が出されます。聞くところによると片付けやすいこと、灰が飛ばないようにとのことでした。

おわりに

タバコの販売店には韓国語の「タンベ（タバコ）」というマークがありますので、愛煙家の方がこちらに来られた際には、一度、韓国タバコを試してみたいかがでしょうか。



↑タバコ販売店看板

韓国のタバコは全部で三九種類（二〇〇七年一月現在）あり、一番人気は、「THI S（ティス）」、第二位「ESSE（エッセ）」、第三位「TIME（タイム）」というタバコだそうですので、一度お試しあれ！味はどれも軽めにくせがなく、日本人の口にも合うのではないかと思います。

きつと、韓国と日本の文化の違いを味わえますよ。

ただし、「健康に有害なタバコ、一度、喫煙を始める」と、止めることは非常に困難」（二〇〇九・四月予定韓国タバコ警告文